



和光市イメージキャラクター「わこうちとさつきちゃん」

# 和光市自治会連合会 自治連

# わこう

平成29年 2月1日 20号

問合せ:和光市自治会連合会事務局(和光市総合福祉会館内) ☎048(463)0104  
自治連へのご要望は▶e-mail:wako.jichiren@opencity.jp



## 12/18 平成28年度 第2回 防犯パトロール



わがまちの安全を守る!!

地区別参加人数	参加自治会数	参加人数
新倉南地区	4	28
新倉北地区	12	66
下新倉地区	12	46
白子南地区	16	118
白子北地区	12	52
市・警察	—	18
合計	56	328

平成28年度第2回の防犯パトロールが12月18日(日)午後8時より市内一斉に実施されました。当日は市内5地区14か所の指定場所に、それぞれの地域の自治会役員が集合、師走の夜の街をパトロールしながら防犯・防火を呼び掛けました。パトロールに先立ち向山地域センターでは和光市長・朝霞警察署長・浪間自治連会長等が参加して啓発活動を行いました。

明るく住みよいまちづくりを推進するため、住民同士の繋がりを大切に防犯・環境・防災等の地域活動を行う自治会の果たす役割が益々重要となっています。

## 新年のごあいさつ

### 加入促進に向けて

和光市自治会連合会 会長 浪間 貞



新年あけましておめでとうございます。  
皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。常日頃、皆様には連合会各事業に参加ご協力を頂き、誠にありがとうございます。  
さて、ここ数年、世界をはじめ、日本国内においても様々な災害が発生し、心の休まる時がありません。  
このようなことも踏まえ、自治会連合会では毎年各市町村を訪問し、防災・防犯、役員の高齢化、自治会加入率促進対策等の研修を重ねてまいりましたが、どちらの市町村においても悩みは同じようです。  
しかし、災害等を考えるとこのままで良いわけはありません。自治会の加入率を上げ、地域の絆を一層高め、地域のことは地域で守るという気持ちに持っていきたいと思います。今、総務部会を中心に自治会加入促進をめざし「仮称自治会優待カード」事業を研究しており、先進地東京都青梅市においては加入増加がみられたとのこと。しかし、この事業においては、和光市、商工会の全面的な協力なくしては成り立ちません。  
今後とも、会員の皆様をはじめ関係各位のご支援を賜りますようお願い申し上げます次第です。  
本年も、皆様にとりまして良い年でありますよう御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

### 自治会への期待

和光市長 松本 武洋



あけましておめでとうございます。  
市民の皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。  
自治会連合会・加盟自治会の皆様には、日頃から地域活動の中核として、幅広く活躍いただき、厚く御礼申し上げます。  
昨年は、地区懇談会において、あらたにワークショップ形式を取り入れることで、地域課題についてのより率直な意見交換の場を提供していただきました。  
また、市域北側の発展の受け皿となる複合施設として、下新倉小学校、児童館、児童保育が4月に、図書館分館が11月にオープンしました。地域活動で積極的にご活用いただければと存じます。  
さて、現在、自治連の皆様にもご協力をいただきながら、市内のモデル地区で、地域住民全体を対象としたゆるやかな助け合いネットワークである「地区社協」の設立に向けた準備を行っています。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。  
結びに皆様の本年のご多幸・ご健勝を祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

## 県外研修報告

鹿沼市は、東京から約100km(約1時間)の日光の歴史を支えてきた前日光と呼ばれた地域であります。面積は、約490km<sup>2</sup>、和光市の約45倍で、市の約7割が山間地域の豊かな自然と日光の玄関口として歴史を有した市として発展しております。

この度研修場所として選定したのは、人口規模、世帯規模が当市と類似する団体であり、自治会数も前述した面積規模にしては、145世帯(最大1,288世帯、最小9世帯)・(和光市最大1623世帯、最小10世帯)と同じような形態であること、事前に鹿沼市の担当者との打ち合わせの中から、若い人たちの自治会加入のメリットがないと考える市民が多くなってきて、加入者の減少傾向にあることなど、共通の課題としての取り組みをどのようにしているか意見交換を通して解決策が見いだせればとのことで計画したものであります。

この度の研修で得られたことは、加入率の向上に向けた取り組みについて、若者が多く住んでいる振興地域(街中)と従来から組織している地域の対応の仕方に苦勞している状況を意見交換できたことに意義があるものと感じたところであります。

特に鹿沼市自治会連合会は、従来から自治加入について、当市も同様に行っておりますが、災害時、緊急時の住民同士の関係強化を掲げ、チラシなどの作成を通して加入の促進に努めているとのことでした。

そんな中で、子育て世代の若者対象にした「自治会加入のすゝめ」という啓発チラシを平成25年度、27年度に作成し、市民まつりなど若者が多く参加するイベントなどを通じて配

和光市自治会連合会事務局 芳野雅廣

布し、自治会本来の役目である、助け合える関係を作ることを提供して、加入促進に努めているとのことでした。

また、鹿沼市には、4つの公立高校が存在し、授業が終了後(午後3時半から4時)に、一校から2名(計8名)出席いただき、子供たちが、日頃思っていること、困っていることを話し合っています。市からも、市長、副市長、幹部職員が出席して意見交換も行っているとのことでした。

当市もイベントなどを通して、2校の県立高校の生徒の交流を行っているようですが、自治会連合会としても今後参考になると思われます。

今年度鹿沼市では、「安心して子供を育て、働ける環境を創ろう」をキャッチフレーズに連合会と単位自治会の共通の活動目標に、若い世代の加入促進に力を入れているとのことでした。自治会員が少しでも子育てに参加して働くお母さんたちの手助けをすることを目標に行っている保育事業であるとのことでした。資金面、場所などいろいろ課題もあるとのことでしたが、安心して子供を預けられる地域力の活動に対しては、今後若い人たちを自治会に加入していただく一つの方策として考える良い機会と思われれます。

この研修を通して感じたことは、和光市は若い世代の移住が交通網の発達により多くなってきている現状から、若者受けする事業の展開を自治会連合会としても取り組んでいく必要があり、そのためのキャッチフレーズを考察することも一つの方法であると思った次第であります。

## 県外研修感想

大和会自治会長 金井良浩

鹿沼市自治会連合会会長 鈴木節也様より自治会加入促進活動についてご説明がありました。

これからの自治会活動の中心になって頂く若い方々への加入促進と子育て世代の方々の加入促進を目指して、子供たちの登下校時の防犯パトロール、子供会活動への支援を行い、子供達同士の交流を深め、同時に保護者同士の繋がりを広めて、お祭り、スポーツ大会、子供たちの参加した敬老会等々、世代間交流をより図って顔の見えるふれあいにある町づくりを実践していきます。

また、きれいな町づくりを目指して道路、公園の清掃、季節

ごとの花を構える運動、ゴミ集積所の管理等々、住みよい美しい町づくりを進めているとの説明がありました。

また、自治会未加入の世帯に対し、自治会連合会から「自治会加入のすゝめ」のパンフレットを配布して加入促進を図っているとのことでした。

その後、双方の自治会の方々からの活発な意見交換が行われ研修会が終わりました。

以上のような事業を行っている自治会もありますが、今後単位自治会共通の活動目標にして加入促進に力を入れていきたいと思っております。



研修の様子 鹿沼市情報市民センター



ユネスコ無形文化遺産に登録された屋台



茨城県常総市の堤防決壊現場

# 実りの秋! 自治会関連行事も盛りだくさん!



10/10 市民体育祭

総合運動場



10/30 BOSAIフェア 2016

樹林公園



10/30 和光会炊き出し訓練 赤池児童公園



11/5 ~ 13 和光市民まつり

市民広場



11/20 第2回 クリーン・オブ・和光

市内全域



参加自治会・人数

参加自治会 82自治会  
参加者 5,184人

回収ごみ量

可燃ごみ 7,750kg  
粗大ごみ 1,490kg  
合計 9,240kg

11/27 ゆめあい和光まつり

総合福祉会館



12/18 大和会・清和会・一竜会  
防犯講演会

白子コミュニティセンター



4日

東輝



浅久保連合



協和会



12月自治会年末



もちつき

10日 緑



七区



11日 大和会



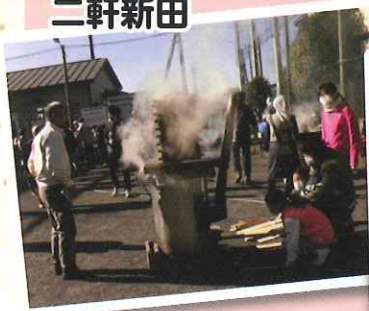
向山



白三西牛房



二軒新田



四晴会



17日 シーアイハイツ和光



18日 DIKマンション和光



### 事務局からのお知らせ

#### ● 備品をお貸します

- ・ポータブル拡声器
- ・プロジェクター
- ・ラミネート作成機等

自治会行事で使用できます。  
借用については早めに事務局にご連絡下さい。

#### ● 横断幕式・次第立看板等の大きい用紙の作成をします。

自治会の総会・イベント等が引き立ちます  
出来上がりの2週間前までに事務局に申し込みください。

(有料)

### 編集後記 今年こそは!!

和光市では住民の転入に伴う世帯数の増加に伴い、自治会への加入数は増えておりますが一方、加入率は減少が続いています。

県内の一部の自治体では加入率促進のための「自治会加入を促進する条例」を制定しました。この条例は、町会・自治会への加入及び参加を促進することに関して基本理念を定め、住民、事業者、町会・自治会及び市のそれぞれあるべき姿や役割を明らかにし市民と一体で進めようとしています。

そこで和光市自治会連合会ではこれまでも自治会加入促進のために様々な手法を用い努力してまいりましたが、今年は酉年に因んで、更に大きく羽ばたき、新たな打開策にチャレンジする年にしたいと思います。皆様方のご支援ご協力よろしくお願いたします。

富津隆司(一竜会)

#### 編集委員

- 福西真司(委員長 和光会)
- 大野忠(南上町会)
- 飯田久夫(浅久保上町会)
- 加山秀夫(白三泉)
- 富津隆司(一竜会)